

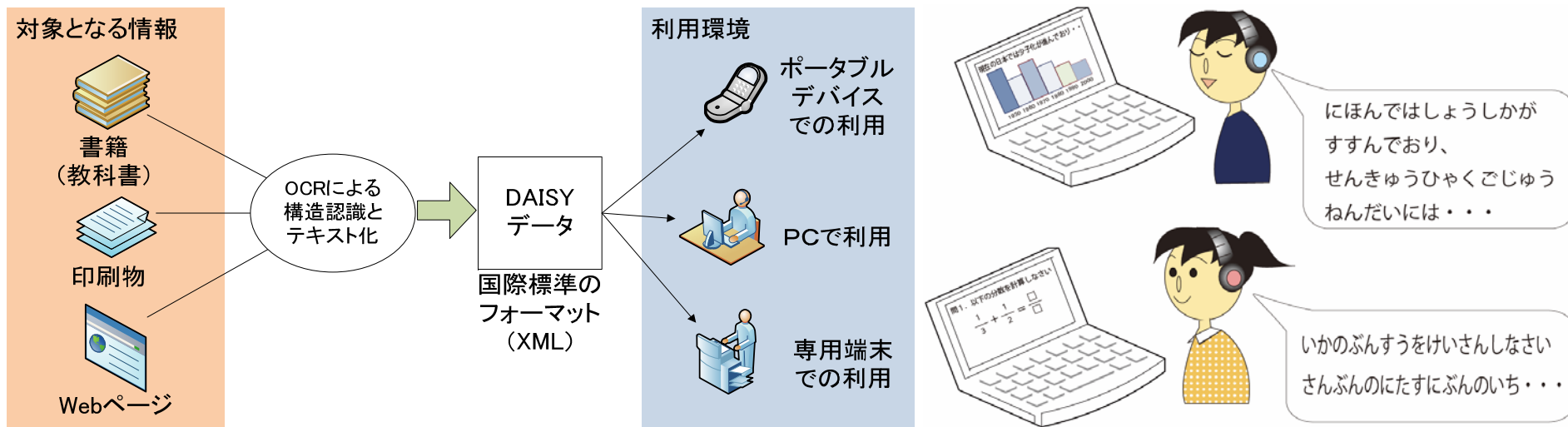
「多様なニーズの児童生徒に対応するマルチメディア教科書等の研究開発」

1. 研究目的:

教科書等の情報を認識解析しDAISY(※)化することで、視覚障害や発達障害を持った多様な生徒にもアクセス可能とする。さらに表・グラフ・図等のマルチメディア化の標準規格を提案し、DAISY規格として国際的に普及させることを目的とする。

2. 研究開発の概要:

本研究では、紙に印刷された文書やPDF など視覚的にのみ提供されている文書に音声情報を付加し、視覚情報と同期させたマルチメディア文書化することにより、視覚障害者や発達障害者などの多様なニーズに対応できる情報提供システムの開発研究をおこなう。



3. 期待される研究成果及びその社会的意義:

研究成果:

数式・算式や表・グラフ・図などを含んだ多様なレイアウトの教科書や教材を自動認識・編集してマルチメディア文書化するシステムのプロトタイプ。

社会的意義:

教科書をはじめとして文書一般のマルチメディア化を具体的に提案することで、多様なニーズを持った人々に情報へのアクセス機会を提供し、インクルーシブ社会の実現に貢献する。

※DAISY: Digital Accessible Information Systemの略で、日本では「アクセシブルな情報システム」と訳されている。視覚障害者や普通の印刷物を読むことが困難な人々のためにカセットに代わるデジタル録音図書の国際標準規格として、15カ国の正規会員団体で構成するデイジーコンソーシアム(本部スイス)により開発と維持が行なわれている情報システムを表す。